



人工知能を用いた 病理診断, その課題

Challenges of AI-assisted diagnostic pathology

この度、COVID-19の感染拡大を受け、弊社では第109回日本病理学会総会の共催セミナーをオンライン形式のライブセミナーとして開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

多くの医療の領域で、人工知能 (Artificial Intelligence : AI) を用いた診断補助技術が用いられるようになっており、病理診断領域においても病理医の不足を補う一つの方法として期待されています。近年は高精細な病理デジタル画像 (Whole slide image) も一般化されてきており、AI技術を活用する土台も整ってきました。本セミナーでは、病理診断領域において、AIには何ができ、その利用にあたっては何に気を付けなければならないのか、病理診断領域におけるAIの開発から、その可能性と限界についてお話しいただきます。

ニコインステックからは、新製品NIS.aiを中心に製品のご紹介をさせていただきます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

座長 佐々木 毅 先生

Sasaki Takeshi

東京大学大学院医学系研究科
次世代病理情報連携学講座 特任教授

演者 吉澤 明彦 先生

Yoshizawa Akihiko

京都大学大学院医学研究科
附属総合解剖センター 准教授

ライブ配信
(Zoomアプリケーション使用)

2020年7月3日 (金) 18:00~19:00

学会オンライン総会web会場にて開催 <http://www.congre.co.jp/jsp2020/index.html>

オンデマンド配信

録画を総会会期中 (~7/31) に学会オンライン総会web会場にて配信

参加方法

ご参加には第109回日本病理学会総会への参加登録 (有償) が必要ですが、個別の申し込みは必要ございません。
総会の参加登録はこちらから <http://www.congre.co.jp/jsp2020/registration/index.html>

